

キャラクター名
レイラ・フリードリヒ

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ハヌマーン		ワークス	ネゴシエーター	カヴァー	歌手
	オプション		年齢	不明	性別	女
覚醒	渴望	衝動	妄想	初期侵食率	38	%
出自	天涯孤独	経験	喪失	邂逅	ディアス・マクレーン	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	19
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	19
精神	2	0	0			2	戦闘移動	24
社会	4	1	0		3	8	全力移動	48

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉	3	
回避			知覚			意志	1		調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:UGN幹部	
コネ:手配師	
コネ:情報収集チーム	
コネ:要人への貸し	
医療トランク	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
Dロイス(ロストナンバー)	P	N		
お姉さん達	P 純愛	N 偏愛		
ディアス・マクレーン	P 尊敬	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 20 残り財産P: 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ブレインシェイク	1	2	メジャー	視界	単体	シンドローム	-	
効果: このエフェクトを組み合わせた攻撃が命中した場合、対象に放心を与える								
コンセントレイト:ソラリス	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: このエフェクトを組み合わせた攻撃のC値を-SL								
抗いがたき言葉	5	2	メジャー	視界	単体	交渉	-	
効果: 射撃攻撃を行う、命中した場合は、そのシーンの間、対象が行う判定のダイスを-SL個する								
先手必勝	5	-	常時	至近	自身	-	-	
効果: 行動値に+SL*3、侵食率基本値+4								
狂乱の一声	1	2	メジャー	視界	単体	交渉	-	
効果: 攻撃力:SLの射撃攻撃を行う、命中した場合、憎悪を与える、その対象は私となる								
彫像の声	3	3	メジャー	視界	単体	交渉	-	
効果:射撃行動を行う、命中した場合、そのシーンの間、対象の行動値を-SL*2する、この効果はマイナーアクションを使用する事で解除出来る								
空の楽器	1	-	メジャー	視界	-	-	-	
効果: 任意の音声や音楽を発生出来る								
竹馬の友	1	-	メジャー	視界	単体	-	-	
効果: 友達(嘘)になれる、<交渉>判定してもよし								
蝙蝠の耳	1	-	メジャー	至近	自身	-	-	
効果: 耳が良くなる-<知覚>判定してもよし								
快樂の香気	1	-	メジャー	視界	シーン(選択)	-	-	
効果: 皆幸せ♪								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「...お姉ちゃん...うん、そこに居るよね? ...嫌だなあ、何故そんなに悲しい顔してるの?お父さんとお母さんは、殺したから...もう、苦しまないよ。」-レイラ・フリードリヒ、殺したお姉さんの死体の前で。

緑の髪と瞳、高風な服が印象的な、元テンペスト所属のネゴシエーター。UGN所属の研究者だった両親、3人のお姉さんと一緒に生活していたが、両親の実験に姉妹全員が材料に使われ、お姉さん達は皆ジャームになってしまふ。自分は実験が失敗したのか、生き残る事が出来たか、現実を拒否し、暴走し始めた。その暴走の中、両親を殺し、ジャームとして残っていたお姉さん達も、被害を出さない為か、もう苦しまない事を願ったか、自分の手で殺す。その後、事件の発生を気付いた軍に拾われ、数年前まではテンペストで活動していた。だが、あの事件の余波により、人間自体を嫌う様になり、テンペストから離脱する。自分の力で自分を妄想の中に沈ませており、何時もお姉さん達と一緒に居るみたいに行動している。彼女が願うのはもう一度、お姉さん達と送る日常だが、その日は永遠に訪れないだろう。